

職員リレーエッセイ

自転車に乗れるようになりました！

ニコニコハウス鶴里 生活支援員 大屋由紀子

今まで手を繋がれながら歩いていた道路。小学1年生になってからは友達との登下校になりました。大きなお兄さんは白黒の縞々した道をいつ渡っていいか教えてくれます。

でも小学2年生になったら春と夏の長期連休中は一人で登下校しないといけません。僕は信号が苦手です。信号が青なら渡ってもいい。赤なら渡らない。そんな単純なことではないのです。信号が青になり渡ろうとしても、曲がって来る車が近づいてきたら？怖くて前に進めません。車が止まってくれても、渡ることができません。しびれを切らした車が発進し、頭の中には「渡っていたら轢かれていたかも」と不安がよぎります。どうしたらいいのか迷っているうちに、信号は赤になり渡れなくなります。

そんな1年生の3学期、急に学校が休校になりました。午前は勉強。午後はお母さんと自転車の練習をしました。すぐに倒れずに乗れるようになり、いくつかの公園を何度も往復して道を覚えます。もう一人で大丈夫！そう思って横断歩道を通ろうとした時、大きなトラックにクラクションを鳴らされました。信号は赤でした。信号があることに気づけなかったのです。横断歩道は車も通るってことも忘れていました。

それから怖くて自転車に乗れなくなりました。なんで横断歩道に信号があつたりなかつたりするのですか。信号がついているかなんて、ものすごく上を見ないと見えません。ヘルメットを被っていると普段より見えにくいのです。

怖くて泣きじゃくる僕を、注意点や気を付ける場所を指摘しながら、後ろからグイグイと押すお母さん。毎日その繰り返し。わんわん泣きました。でも学校が再開する頃には慣れました。

今では自転車に乗って公園に行き、友達と遊ぶのが何よりの楽しみです。

心身共に発達がゆっくりなうちの子。自分で判断する事が苦手な恐怖心も人一倍です。コロナ発生でパニックの中、追い打ちをかけた車の脅威。それもいまでは落ち着きました。子供と向き合う時間をくれた皆様に感謝でいっぱいです。

普通の大人には簡単に思えても、子供には難しく、大きくなっても苦手な事もあるかと思えます。子育てで得た経験が仕事で活かしたり、または仕事で得た経験が子育てに活かしたり。そんなこんなで皆さんとゆっくりでもちよつとずつ成長していけたらと思えます。

次は、相談支援センターなごみ 相談支援専門員 水野諒さんに繋がります。